

まちづくり・環境部会 アンケート結果

アンケート内容

Q1 東京2020大会に向けて、どのような取組を行っていますか。又は、検討していますか。

Q2 本部会として、どのようなテーマを検討していきたいですか。

回答内容 回答文は原文まま

すみだ環境共創区民会議

(Q1について)

これまでは、共創会議として区の環境施策の進捗状況の確認や環境関連事業のPR、暑さ対策として打ち水のイベントへの参加などを構成員の意見等を踏まえて行ってきたが、今後は共創会議として東京2020大会に向けて、どのようなことができるか、検討していきたい。

(Q2について)

今後、まちづくり・環境部会の具体的な活動内容を分析して、参加団体として活動できる部分について、検討していきたい。これまでは、共創会議としては、Q1に記載された活動を行ってきたが、引き続きレガシーの構築を含めて、区と協力してクールスポットの検討、雨水を利用した打ち水の協力などが実施できればと考える。

東京地下鉄

(Q1について)

- ・オリパラに向けた施策については、今回の中期経営計画や毎年度の事業計画に反映し、「世界トップレベルの安心でお出迎え」、「地下鉄をわかりやすく快適に」、「沿線地域との連携、東京を楽しく」のコンセプトのもと、浸水対策、ホームドアの整備、バリアフリー設備の整備、多言語対応、銀座線リニューアル等の各種施策を進めている。
- ・観客輸送については、五輪組織委員会と事務レベルでの打合せ、情報交換等を行っている。また、ヘリテッジエリア、ベイエリアの各事業者との打合せ、情報交換等も組織委員会を交えた形で行っている。
- ・社内においては、五輪組織委員会から受領した観客輸送データを基に、駅構内における旅客の安全性の検証や流動阻害要因の特定をするために会場最寄駅の流動シミュレーションを行った。また、混雑が予想される会場最寄駅、観光地最寄駅については、要員配置について検討している。
- ・また、競技時間が深夜に及ぶことが想定されている競技もあることから、これらの競技終了後に終車延長をどこまで対応できるのかについても検討している。

(Q2について)

- ・東京スカイツリー等の多様な方々が集まる観光地において、多言語案内等の多様なサービス提供について。

本所警察署

(Q1について)

- ・会場等事前対策（国技館、墨田区総合体育館）

- ・官民パートナーシップ活動によるテロ対策
- ・ソフトターゲット対策
- ・マラソン競技警備対策
- ・外国人及び暴力団犯罪対策
- ・サイバー犯罪対策

(Q 2 について)

お示しされている検討項目である。

- ・情報共有・連絡調整強化
- ・自主的な取組の検討
- ・区や関係団体と連携した取組の検討等 をお願いします。

向島警察署

(Q 1 について)

- ・管内に会場がないため、両国国技館で不測の事態が発生した場合の避難誘導方法や、その場所の確保。

向島防犯協会

(Q 1 について)

- ・向島各町会(7 9 町会防犯協会加入)へ防犯カメラの設置をお願いする取組をしている所です。
- ・振り込め詐欺、自転盗、ひったくり、万引などのキャンペーンをおこなっています。(月 2 ~ 3 回)

向島交通安全協会

(Q 1 について)

- ・交通ルール遵守の呼びかけ。
- ・警察署に協力した交通安全誘導活動の実施。
- ・放置自転車追放キャンペーン等への参加。

(Q 2 について)

- ・東京・下町・墨田区をどのように P R していくか。

本所交通安全協会

(Q 1 について)

- ・国技館は本所警察署管内にあり、本所交通安全協会としても、警察の指導の元、ボクシング競技応援の雑踏警備や歩行者誘導等、大会がスムーズに運営できるようサポートして行きます。まだ具体例はありません。

本所消防署

(Q 1 について)

- ・平素の消防業務を推進してまいります。

本所消防団

(Q1について)

- ・不特定多数の人が墨田区を訪れることが想定されることから、警察、消防、墨田区と連携を密にして、各種警戒活動の強化が必須となる。そのためには、消防団員の充実強化を図っていかねばならないことから、現在団員募集に傾注している。

(Q2について)

- ・関係機関と連携した出火防止対策及び応急救護体制等の確立について検討したい。

向島消防団

(Q1について)

墨田区各消防団では、以下の2項目について検討しています。

- ・警戒等に伴うせいび装備資器材について

すでに配置されている資器材で、救急資器材や無線機等の増強や、新規に整備する必要性が有る資器材として暑さ対策の資器材、来日した外国人に対応するための多言語対応トラメガや折り畳みボート等の資器材を検討しています。

- ・警戒等に向けた教育訓練について

世界的にテロが危惧されていることから、テロを踏まえた警戒の教養や新規資器材が配置になった場合の教養、更には隣接する消防団との協力が必要なことから警戒時や災害時の協力の教養を検討しています。

(Q2について)

- ・大会を無事に終了するための安全対策。

東京都第五建設事務所

(Q1について)

東京都で策定した「2020年に向けた実行プラン」に基づき、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けた取組を着実に進める。

具体的には、都道バリアフリー推進計画、自転車推奨ルート整備、暑さ対策の遮熱性舗装、花壇整備等。

(Q2について)

東京都の取組と連携する内容について、具体的になってまいりましたら、十分に意見交換させていただきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

東京都建築士事務所協会墨田支部

(Q2について)

- ・『まち歩き』による健康増進

ボクシング会場、スカイツリー、各美術館を巡る歩行ルートの美化(住民参加の接待:樹木、花壇など...)を通し、観光客、住民間のコミュニケーションづくり。

同ルートのバリアフリー、案内版整備...

同ルートの公衆トイレの整備(汚いとの声あり)、商業施設にトイレの提供を申し出る。

- ・自転車利用者への対応

多くの観光客が自転車で訪れることが予想されるため自転車レーンなどの整備や駐輪場

の確保を行う。(隣接区とも連携)

両国 隅田川沿い 牛嶋神社 スカイツリーなど推奨ルートの設定

首都高速道路下の整備

スマートフォンで閲覧

レンタルサイクル導入

・区内全域を回遊できる仕組み

オリナスの“Relay the Future”のような子どもたちの感性

神社や歴史だけでない若者を引き付ける発想

インスタ映え

青梅市アキテポ不動産のような試み

高齢化で廃業した店舗を改装する。

質の良い、見栄えの良い空き家(店舗)を利活用する。

徒歩で回ってもらい借り手を募集する。

・環境整備

透水性アスファルトの積極導入(カラーも検討)

緑化(北斎 花鳥画集を参考)

東京電力パワーグリッド江東支社

(Q1について)

安定的な電力供給に向けた設備のセキュリティー強化や防犯対策

(Q2について)

オリンピック機運醸成の街づくり等、事業者として協力できればと思っております。

東京国道事務所

(Q1について)

国道14号の中央区東日本橋二丁目から墨田区四丁目間の約1.9km区間において、交通混雑の緩和、交通安全の確保、大規模地震時の特定緊急輸送道路の確保を目的として、4車線から6車線へ拡幅事業を行っています。東京2020大会へ向けて、一部供用予定です。